

# 白神八峰商工会

攻めの解決提案で事業者と共にチャレンジし続ける商工会

## 重点推進 施策

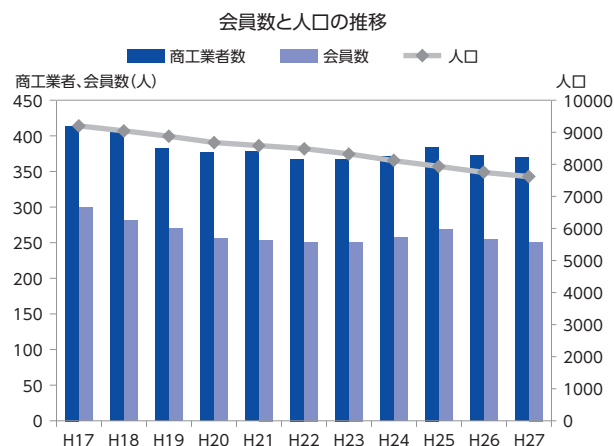
- 1 積極的かつタイムリーな解決提案巡回による個社支援の実施
- 2 儲かる第一次産業事業者の育成と会員加入促進運動の実施
- 3 創業及び第二創業支援を含めた事業承継の促進
- 4 商工会活動強化のための業務効率化と財政健全化

### ●推進にあたっての基本的な考え方

平成14年の合併で誕生した白神八峰商工会は、白神山地からの豊かな恵みを観光資源として活用した「八峰まるごと巡回バス」体験観光ツアー等の事業を展開し、特に、11回目を数える「あわびの里づくり祭り」は、八峰町の新たな名物イベントとしての地位を確立して商工会の存在意義を高めるに至っています。今後は、このイベントで作り上げられた地域ブランドイメージを商工会の本来業務である個社支援に活かし、一人でも多くの事業者が付加価値を高められるよう取り組んでいく必要があります。また、本町でも人口減少に伴う市場規模の縮小や需要の減退によって、事業者の自助努力だけでは解決の糸口が見えない状態となっており、これまで以上に会員それぞれの経営課題に応じた支援を行っていく必要が生じています。

このため、本商工会では、「経営持続発展調査」を実施して既存会員の経営実態と課題を把握し、実効性の高い具体的な解決策を積極的かつタイムリーに提案するなど巡回内容の質の向上に向けた取組を強化し、事業者の持続・発展を支えています。また、これまで地域資源を有効活用する事業において関わりを深めてきた漁業者や農業者に対しても、利益を生み出し続け儲かる事業者となるよう支援を展開するとともに、商工会の一員として迎え入れ、本商工会ならではの取組を進めていきます。

また、会員が自主性をもって行う活動を支援するとともに、これらを効果的に実行していくため、人材育成や業務効率化、財政の健全化、既存事業や組織体制の見直しにも取り組み、充実した個社支援が展開できるよう商工会の活動強化を図ります。



## 白神八峰商工会アクションプログラムの構成

### 戦略1 育て・挑戦を支える商工会

- 施策1 積極的かつタイムリーな解決提案巡回による個社支援の実施【重点推進施策】
  - 経営持続発展調査の結果に基づき会員ニーズ、支援ステージに合った計画的かつ効率的な巡回を行うことにより、タイムリーで集中的な「攻めの解決提案個社支援」を実現します。
- 施策2 儲かる第一次産業事業者の育成と会員加入促進運動の実施【重点推進施策】
  - 「オール八峰」で地域を盛り上げていくため商工業者、漁業者、農業者が集うビジネスチャンス創出を目的とした異業種交流会を実施するとともに、漁業者や農業者等が利益を生み出し続けることのできる儲かる事業者となるよう支援を行います。また、こうした活動を通じて、新たな分野からの会員加入を促進するほか、未加入者意識レベル表による役職員が一体となった加入促進運動など効率的かつ実効性の高い取組を展開します。
- 施策3 創業及び第二創業支援を含めた事業承継の促進【重点推進施策】
  - 実態調査結果に基づき段階に応じた効果的な個社支援を実施して円滑な事業承継を促進していくほか、行政や他商工会と連携しながら事業者の誘致も含めた創業を支援します。
- 施策4 情報発信強化戦略の策定と実行
  - 会員に対する有益な情報提供はもちろんのこと、漁業者や農業者、一般住民にも分かりやすい情報発信を行うため、「白神八峰情報発信強化戦略」を策定し、それを着実に実行していくことで地域に根差した商工会を体現していきます。

### 戦略2 プロ集団の商工会

- 施策5 あらゆる機会を捉えたOJTによる人材育成の実施
  - 先輩職員・地元出身職員からの定期的なOJTを実施するほか、専門家派遣や近隣商工会、県連合会との情報交換など、入手した様々な情報を職員間で共有できる仕組みを構築し、職員自らが専門分野を選定し、その知識の深化と経営支援力の強化を図ります。

### 戦略3 事業者が主役の商工会

- 施策6 部会及び青年部・女性部活動の見直し
  - 自主性を持った部会活動及び青年部・女性部がビジネスチャンスにつながる活動を主体的にできるよう、それぞれがビジョンを策定し、抜本的な事業や組織体制の見直しを図ります。

### 戦略4 機動的・効率的な商工会

- 施策7 既存事業の見直しによる個社支援事業への再構築
  - 県連合会が提供する各種マニュアル等を活用し地域振興事業等の見直しを行って、個社支援につながる事業に再構築します。

### 戦略5 環境変化に強い商工会

- 施策8 商工会活動強化のための業務効率化と財政健全化【重点推進施策】
  - 業務効率化による残業の削減、受益者負担に則った手数料の見直しなど即応性の高い取組を実施し、充実した個社支援の実現と財政の健全化を図ります。

# 戦略1 育て・挑戦を支える商工会

## 1 取組内容

### ■施策1 積極的かつタイムリーな解決提案巡回による個社支援の実施【重点推進施策】

事業者からの相談を待つのではなく、必要に応じて積極的に訪問するなど「攻めの巡回相談」を進めるためには、事業者の経営実態や課題を的確に把握し、実効性の高い具体的な解決策をタイムリーに提案していく必要があることから、「経営持続発展調査」を実施し、データベースを作成の下、会員ニーズや支援ステージに応じた計画的かつ効率的な巡回を展開します。

#### 【主な取組】

- ◆経営持続発展調査の実施
- ◆経営持続発展調査結果のデータベース化、それに基づく支援ステージの選定
- ◆支援ステージに応じた解決提案巡回

▽データベースイメージ

(株)〇〇食品

	事業承継	販路拡大	施策活用	ICT活用	経営革新	6次産業化	経営計画	経営改善
実行支援		○						
解決提案				○	○			
課題抽出	○							
情報提供			○					

### ■施策2 儲かる第一次産業事業者の育成と会員加入促進運動の実施【重点推進施策】

八峰町の活性化を図っていくためには、漁業者や農業者との関わりが不可欠であることから、記帳をはじめとした経営支援を積極的に推進しながら、異業種交流会を実施するなど、これまで以上の連携が図られる取組を行っていきます。そして、これらの活動を進める過程において、第一次産業事業者が利益を生み出し続けることのできる儲かる事業者となるよう経営支援を行うとともに、会員加入も促していきます。また、こうした活動と併せ、役職員が一体となって未加入者意識レベル表に基づく会員加入促進運動を展開します。

#### 【主な取組】

- ◆異業種交流会の実施
- ◆漁業者や農業者に対する記帳をはじめとした経営支援
- ◆未加入者意識レベル表の作成
- ◆役職員が一体となった会員加入促進運動の実施(新分野からの加入促進を含む)

▽未加入者意識レベル表イメージ

(株)〇〇工務店

	レベル	6/1(佐々木)	レベル	6/1(佐々木)
前向きに検討中			○	〇〇理事と一緒に訪問。〇〇補助金の紹介を行ったところ、会費額について聞かれるなどかなり前向き。
手ごたえあり	○	新たな設備導入を考えており、補助金に興味を示している。		
時間を要する		〇〇理事と友人とのこと。		
見込無し				

△△美容院

	レベル	6/3(佐々木)	レベル	
前向きに検討中				
手ごたえあり		かなりの高齢で、まもなく廃業を考えているとのこと。		
時間を要する				
見込無し	○			

### ■施策3 創業及び第二創業支援を含めた事業承継の促進【重点推進施策】

事業承継は、必要な準備期間を十分確保して取り組むことが重要であることから、実態調査を実施し、第二創業や第三者への事業承継の意向と併せ、事業者の実態を把握したうえで、段階に応じた支援に取り組んでいきます。

また、移住定住や生涯学習を推進する八峰町との連携を深めることにより、移住者及びシニア層への迅速な創業支援と実態調査を活用した第三者への事業承継マッチング体制を構築していくほか、他商工会とも連携し創業塾を開催するなど地域に新たな活力を生み出す創業にも力を注いでいきます。

【主な取組】

- ◆事業承継における実態調査の実施
- ◆実態調査に基づく支援ステージの選定
- ◆支援ステージに応じた事業承継計画書の作成支援
- ◆行政との情報共有体制の構築(連絡会議の開催)
- ◆他商工会及び行政と連携した創業塾の開催

■施策4 情報発信強化戦略の策定と実行

商工会活動を内外に発信していくことにより、会員のみならず行政や関係団体、地域住民に対して商工会の存在意義を高め、結果として会員メリットにつながるようこれまで以上に情報発信力を強化していきます。また、特に行政とは強力に連携するため、事業者情報の提供及び共有を行い、情報を効率的に発信することにより支援強化を図ります。

これらを戦略的に推進していくため、「白神八峰情報発信強化戦略」を策定し、着実に実施していきます。

【主な取組】

- ◆白神八峰情報発信強化戦略の策定
- ◆SNS等のICTツール活用による情報発信
- ◆行政への事業者情報提供及び共有による連携強化

2 工程表

	(1)個社支援	(2)一次事業者育成 /会員加入促進	(3)事業承継/創業	(4)情報発信
事前	—	▽関係機関との意見交換	▽行政との意見交換	—
H29年度	▽経営持続発展調査の実施 ▽データベースの作成 ▽支援ステージの選定	▽異業種交流会の実施 ▽漁業者・農業者への経営支援 ▽未加入者意識レベル表の作成	▽事業承継実態調査 ▽支援ステージ選定 ▽移住定住連絡会議の設置 ▽広域連携創業塾の実施	▽白神八峰情報発信強化戦略策定 ▽ICTツールの導入検討 ▽行政への情報提供・共有
H30年度	▽解決提案巡回	▽異業種交流会の実施 ▽漁業者・農業者への経営支援 ▽会員加入促進運動の実施	▽事業承継計画書作成支援 ▽創業支援	▽白神八峰情報発信強化戦略策定 ▽ICTツール活用による情報発信
H31年度	↓	↓	↓	↓
H32年度				
H33年度	↓	↓	↓	↓

3 評価指標

これらの取組が着実に個社支援へつながったか、そして事業者がどうなったかを評価項目に定め、年度ごとに検証・改善を図ります。

項目	現状値	目標値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
1.解決提案・実行支援巡回件数	—	260件	470件	600件	650件	720件
2.漁業者等への経営支援件数 (うち6次産業化数)	50件 (0件)	60件 (1件)	100件 (2件)	100件 (2件)	100件 (2件)	120件 (3件)
3.新規会員加入者数	10件	10件	10件	10件	10件	10件
4.事業承継計画策定支援件数	3件	6件	9件	9件	9件	9件
5.創業支援件数 (うち創業者数)	10件 (2件)	10件 (2件)	15件 (2件)	20件 (2件)	20件 (2件)	30件 (3件)

## 戦略2 プロ集団の商工会

### 1 取組内容

#### ■施策5 あらゆる機会を捉えたOJTによる人材育成の実施

人事交流による職員異動に対応し、八峰町に根差した業務を遂行していくためには、県連合会の実施する人材育成のほか、本商工会ならではの取組を行っていく必要があります。

これを着実に実行していくため、年度ごとに「OJT実施計画」を策定の上で、先輩職員・地元出身職員からの定期的なOJTを実施するほか、専門家派遣や近隣商工会、県連合会との情報交換など、入手した様々な情報を職員間で共有できる仕組みを構築するとともに、職員それぞれが取り組むべき専門分野を選定し、知識の深化と経営支援力の強化を図っていきます。

#### 【主な取組】

- ◆OJT実施計画の策定
- ◆取り組むべき専門分野の選定
- ◆月1回の商工会OJT研修会の実施
- ◆県連合会や近隣商工会などとの情報交換会の開催
- ◆経営支援能力チェックシートによる評価

### 2 工程表

	人材育成の実施
H29年度	▽OJT実施計画の策定(毎年度) ▽取り組むべき専門分野の選定 ▽OJT研修会の実施 ▽情報交換会の開催 ▽経営支援能力チェックシートによる評価
H30年度	↓
H31年度	
H32年度	
H33年度	

### 3 評価指標

策定したOJT実施計画書に基づいた人材育成が実施された結果、どのように職員の能力が向上されたかを検証する評価項目を「経営支援能力チェックシート」に定め、その検証を行った上で、次年度の計画書に反映させていきます。

項目	現状値	目標値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
目標達成率	—	50%	50%	60%	60%	70%

## 戦略3 事業者が主役の商工会

### 1 取組内容

#### ■施策6 部会及び青年部・女性部活動の見直し

社会経済情勢の変化や地域課題に迅速かつタイムリーに対応していくため、外国人技能実習制度検討部会や漁業・農業部会といった自主性のある部会活動ができるよう見直しと支援を進めていきます。

また、「オール八峰」にて地域の活性化を図っていくためには、若手経営者等が自ら考え主体的に自身の経営やビジネスチャンス創出、地域活性化事業へ取り組んでいく意識が重要となることから、青年部・女性部が主体的に活動できるよう抜本的な事業や組織体制の見直しを図ります。具体的には、青年部・女性部が今後のビジョンを策定し、そのビジョンが着実に実行できるような体制を構築していきます。

#### 【主な取組】

- ◆部会及び部会活動の見直し
- ◆青年部、女性部ビジョン(仮称)の策定
- ◆青年部、女性部の組織体制の見直し(役員数見直し、委員会・部会の設置)

### 2 工程表

	(1)委員会、部会の設置	(2)青年部、女性部活動の見直し
H29年度	▽新たな部会、部会活動の検討	▽青年部、女性部ビジョンの策定
H30年度	▽委員会、部会の設置	▽組織体制の検討
H31年度	※必要に応じて随時検討、設置	▽役員数の見直し、委員会・部会の設置
H32年度	↓	↓
H33年度	↓	↓

### 3 評価指標

部会、青年部、女性部ともに参加率が現在の課題の一つとなっていることから、これを成果項目とし、本取組を検証していきます。

項目	現状値	目標値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
1.部会参加率	10%	10%	20%	30%	40%	50%
2.青年部、女性部の事業等参加率	30%	30%	50%	60%	70%	70%

## 戦略4 機動的・効率的な商工会

### 1 取組内容

#### ■ 施策7 既存事業の見直しによる個社支援事業への再構築

地域振興事業については、業務量の多いことや、その業務が一時期に集中することから本来業務である個社支援へ影響を及ぼす場面もあります。このため、県連合会や全国商工会連合会が提供するマニュアルを参考にしながら、事業の費用対効果や利用会員数、PR効果、収益性、個社支援への結び付きを検証し、改善を行って個社支援につながる事業へと再構築を図ります。

- 【主な取組】**
- ◆ 各種マニュアルに基づいた既存事業の検証
  - ◆ 事業評価委員会の設置・検証

### 2 工程表

	既存事業の見直し
H29年度	▽既存事業の検証(事務局レベル) ▽事業評価委員会の設置、検証
H30年度	▽会長への答申 ▽理事会・役員会での共通理解
H31年度	▽再構築事業の実施
H32年度	↓
H33年度	

### 3 評価指標

既存事業見直しの目的は、個社支援につながる事業への再構築を図ることにあることから、検証できる評価項目を設定することとします。

項目	現状値	目標値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
参加事業者への解決提案巡回数	5件	10件	30件	60件	60件	60件

## 戦略5 環境変化に強い商工会

### 1 取組内容

#### ■ 施策8 商工会活動強化のための業務効率化と財政健全化【重点推進施策】

社会経済情勢がめまぐるしく変化する地域の事業者に対応していくためには、いかなる場面においてもタイムリーに解決提案を行っていけるよう商工会活動を強化していく必要があります。そのためには、業務平準化により職員がフレキシブルに動ける体制を整えるとともに、迅速に事業を執行していくことのできる財源を確保していく必要があることから、徹底した業務の効率化や受益者負担に則った手数料の見直しなど即応性の高い取組を実施し、充実した個社支援の実現と財政の健全化を図ります。

##### 【主な取組】

- ◆ 業務平準化による業務効率化と残業の削減
- ◆ 受益者負担に則った手数料の見直し

### 2 工程表

業務効率化と財政健全化	
H29年度	▼業務及び財政シミュレーションによる検証 ▼記帳機械化を中心とした業務平準化の検討(事務局レベル) ▼事務分掌、仕事の仕方の改善 ▼業務ペア制度の導入 ▼業務平準化に向けた職員の意識改革
H30年度	▼記帳機械化手数料規程をはじめとした見直し(理事会・役員会)
H31年度	▼総会での承認 ▼新たな手数料規程の導入
H32年度	↓
H33年度	

### 3 評価指標

業務効率化、業務平準化、財政健全化の一つの指標を職員の残業と捉え、これを評価項目にすることで、本取組を検証します。

項目	現状値	目標値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
残業の削減率	—	10%	20%	30%	40%	50%